

至誠会 後援会報



# ル・リアン

編集発行 社会福祉法人 至誠会後援会

\*発行\*

令和元年12月1日

第1号



ル・リアン全景

## 後援会発足にあたり

後援会会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より至誠会後援会活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

県都岐阜市におきまして、自閉症の人達が安心して暮らせる社会をつくる基盤として、社会福祉法人至誠会が設立され、福祉施設「ル・リアン」が開設されて2年を経ることになりました。

開設された「ル・リアン」は、成人期の障がいの重い人達の日中の生活を支援する施設となっております。施設を訪れますと、まずお迎えしてくれるのは施設らしくない外観の街角にあるパン屋さんです。店内では従業員さんと同じように働いている施設利用者さんの姿が見えます。

「ル・リアン」は障がいがある人もない人も分け隔てなく共に生きていく社会を築いていく拠点となっていくことを目指されています。

私達は、この春に、その趣旨に賛同し、至誠会「ル・リアン」の事業を応援する、社会福祉法人至誠会後援会を発足致しました。

目まぐるしく変化する時代の中、障害がある無しに関わらず同じ人として現在社会に生きていくことに変わりはありません。当後援会といたしまして、本趣旨の願いが叶いますよう応援したいと思えます。今後とも、自閉症の人達を支え、この社会で共に生きる一人として、社会福祉法人至誠会の活動を支える、当後援会活動への皆様の一層のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

令和元年11月

社会福祉法人至誠会後援会会長 山田 大

社会福祉法人至誠会 後援会 設立総会

開催年月日 平成31年4月27日(土曜日)  
 開催場所 至誠会 ル・リアン  
 開催時間 午後1時30分～

【開会】

○ 理事長挨拶

【議事】

1. 後援会設立の経過(平成31年2月10日 設立役員会の報告)
2. 後援会規約の承認
3. 設立時役員承認、紹介
4. 平成31年度 事業計画及び予算の承認
5. 後援会長挨拶

社会福祉法人至誠会 後援会 役員名簿

No.	役職名	氏名	住所
1	会長	山田 大	岐阜市神田町
2	委員	若井 あつこ	岐阜市鹿島町
3	委員	渡辺 貴郎	岐阜市西川手
4	委員	東谷 智恵子	岐阜市土土居
5	委員	井後 さとみ	揖斐郡大野町
6	会計	伊藤 三奈子	本巣市上真桑
1	監事	水野 聡美	本巣郡北方町
2	監事	高橋 睦	岐阜市西改田
	事務局	平下 博文	至誠会 ル・リアン内

社会福祉法人至誠会 後援会 規約

(名称と事務所)

第1条 本会は、「社会福祉法人至誠会後援会」と称し、事務局を、岐阜市川部6丁目60番地 社会福祉法人至誠会「ル・リアン」事務所内に置く。

(目的)

第2条 本会は社会福祉法人至誠会の事業及び運営施設の活動を援助するとともにその発展に協力することを目的とする。

(会費)

第3条 会員は本会の目的に賛同する個人または法人(団体)とする。

(会費)

第4条 会費は正会員：一口一〇,〇〇〇円、賛助会員：一口二,〇〇〇円とし、年間一口以上とする。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置き、任期は1年とする。但し、再任を妨げない。  
 会長／1名 会計／1名 委員／若干名 監事／2名  
 役員は前年度の役員会が選出し、総会において承認する。

(組織及び会議)

第6条 会は正会員で組織し、会議は総会、役員会とする。会議は会長が招集し、議長は会長がこれにあたる。

2 総会は年1回開催し、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

3 役員会は必要に応じ、会長が招集して開催する。

4 本会の運営事務を司るために事務局を置く。会長は事務局長及び事務局員を委嘱する。

(会計)

第7条 本会の財政は、会費、寄付金、その他の収入によるものとする。  
 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

(規約の改正)

第8条 この規約は、総会において改正することができる。

付則：1条 この規約は2019年(平成31年)4月1日から実施する。

2条 設立時の役員は本会設立準備委員会が選出し、設立総会で承認する。

社会福祉法人至誠会 後援会 平成31年度 事業計画

1. 後援会活動の拡充
  - (1) 後援会総会の開催 定例会 年1回(平成31年4月27日)
  - (2) 会員の拡充 正会員 目標50口  
賛助会員 目標50口
2. 社会福祉法人至誠会が運営する施設等への運営支援
  - ・ 障害福祉サービス事業所「ル・リアン」
  - ・ その他
3. 後援会会報の発行 (年1回)
  - ・ 第1号の発行 12月頃
4. 施設等が開催する行事等への協賛
  - (1) 夏祭り 8月
  - (2) クリスマス会 12月

社会福祉法人至誠会 後援会 平成31年度 予算書

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	備考
会費収入	600,000	正会員 @10,000×50口 賛助会員 @2,000×50口
寄付金収入	10,000	
その他の収入	1,000	
合計	611,000	

【支出の部】

科目	予算額	備考
会議費	10,000	役員会 総会
事務費	11,000	封筒、印鑑
通信費	10,000	郵送費用
印刷製本費	30,000	会報発行
法人助成金	500,000	法人運営費助成 (法人へ寄附)
行事助成金	50,000	行事経費助成 (夏祭り、クリスマス会)
合計	611,000	

後援会会員

正会員(11月1日現在)(敬称略・順不同)  
 平下博文、朝居義裕、平野あやの、  
 田代陽子、水野佐知子、青木富美枝、  
 井後清和、水野正之、井後義彦、福  
 井宏昭、吉田美智子、渡辺末子、浅  
 野八千代、伊藤三奈子、長谷川忠司、  
 藤井武司、長尾佳春、若井あつこ、  
 森淳郎、服部信夫、服部美津子、小  
 田賢一、松久稔、野中直子、渡辺貴郎、  
 田代陽子、道家やすなり、梅田佑里、  
 東谷智恵子、(株)たかさこ、(株)山田養鶏、  
 (有)アズマ食器、岐阜県自閉症協会、  
 (株)金華建築事務所、(有)保険の岐阜北、  
 朝居商事(株)、(株)岐阜観光旅行セン  
 ター、(株)ジーケーエス

賛助会員(11月1日現在)(敬称略・順不同)  
 佐野美佐、村井佐紀子、伊藤庄次、  
 山田愛子、玉井志げ子、加藤かおり、  
 井後英幸、井後帆乃香、堀五郎、若  
 杉茂、岬柳旭、佐藤竹子、西尾静子、  
 平下治子、毛利貴代子、矢島隆子、  
 西村康子、ニシブハルイチ、ムラセ  
 ユウイチ



後援会入会のお願ひ

後援会会員登録書

社会福祉法人至誠会の趣旨に賛同し、後援  
 会員になることを申し込みます。

一、正会員

なお年会費 口分(一口二万円)を  
 取めます。

一、賛助会員

なお年会費 口分(一口二千円)を  
 取めます。

令和 年 月 日

住所

氏名

社会福祉法人至誠会 後援会会長様

※フリガナ

【後援会費 お振込み先】

【銀行名】 大垣共立銀行

【支店名】 鳥 支店

【預金種目】 普通

【口座番号】 242417

【口座名】 社会福祉法人至誠会 後援会

開設2周年を迎えて

『ル・リアン』 施設長

「ル・リアン」は平成29年10月、岐阜市に知的障害を伴った自閉症の人達が地域で生活していくことを支援する拠点となる施設をつくろうとの呼びかけに賛同した者によって、社会福祉法人「至誠会」を設立、最初の施設（日中活動支援事業所）として岐阜市の西部地区で事業を開始しました。行っている事業は「生活介護」定員15名、「就労継続支援B型」定員10名の多機能型事業所で、「ル・リアン相談支援事業部」を併設しています。来年度には、「短期入所」、「グループホーム」を開設する準備をし

社会福祉法人至誠会 役員等名簿

No.	役職名	勤務形態	氏名
1	評議員	非常勤	山田 大
2	評議員	非常勤	高橋 睦
3	評議員	非常勤	中野 たみ子
4	評議員	非常勤	小坂 孫次
5	評議員	非常勤	井川 典克
6	評議員	非常勤	石井 啓
7	評議員	非常勤	長屋 千歳

①評議員 任期：平成32年度最終定時評議員会の集結する時まで

ているところです。

法人名の「至誠」は「誠意を尽くして事にあたれば、どのようなことでも必ず動かすことができる。」という意味からなっています。また施設名（事業所名）「ル・リアン」は「絆」「繋がり」「縁」の意味があり、この場所から私達の願いの輪が広がっていくようにとの思いが込められています。開設からやがて2年になりますが、施設も今年4月に当初予定の定員利用者になり、改めてのスタートとなつたところです。

すべてが整った状態でのスタートとはいきませんでした。困難を乗り越えていく過程で私達の願いとする施設の姿が、出来上がっていくものと思っています。そしてそれを実現していくのは縁あつて「ル・リアン」

②理事・監事 任期：令和2年度最終のものに関する定時評議員会の集結する時まで

No.	役職名	勤務形態	氏名
1	理事長	非常勤	水野 佐知子
2	業務理事	常勤	平下 博文
3	理事	非常勤	服部 信夫
4	理事	非常勤	福島 久生
5	理事	非常勤	井後 さとみ
6	理事	常勤	平下 直樹
1	監事	非常勤	藤垣 寿通
2	監事	非常勤	本田 修也

に集った、またこれからも集って来る利用者さん達と、この人達の周りにいる私達自身の他を「思いやる心」です。

人々が互いを認め合う共生社会が実現できるそんな場になる施設づくりの第一歩を踏み出しました。

私達は施設の基本方針を「働く」ことで人としての自己実現と、社会参画を成していく。としました。「ル・リアン」には自分の居場所があり、自分を認められる仕事があり、そこには自分を受け止めてくれる人がいる。「働く」ことは、私達が「協働」する結果として目に見える形での生産品になり、それは私達の社会に還元されます。

解りやすい環境の提供と、至ってシンプルな私達の方針です。それを共通する一致点として、利用者さんと共に前に進みたいと思えます。

施設「ル・リアン」紹介

社会福祉法人至誠会ル・リアンは、開設2周年を迎えました。ル・リアンは、障害者総合支援法による多機能型事業所になります。そのうち、生活介護事業（通所）では現在14名の方が、主に生産活動に携わることを通じて、生活力の向上、自立の促進、

生活の改善を図り、社会参加と自己実現を目指しています。

自閉症という障害は、生まれながらに脳の機能がうまく働かないために、目や耳から入ってくる情報を整理して、それらを意味のあるまとめたこととして認知することが難しく、その困難さが生涯にわたって続く発達障害です。

自閉症の症状の現れ方は人によって異なりますが、その根底には必ず3つの能力障害があり、「3つ組の障害」と呼ばれ、それがセットであった時に自閉症と診断されるという医学的取り決めがあります。①社会性の発達障害（認知・統合の障害）、②コミュニケーションの障害（発達性の意味失語、言葉の意味が分からない）、③活動と興味の偏り（イマジネーションの障害）の3つです。これら以外にも、同時失認（1つの場面が何を表しているか分からない）、相貌失認（顔が識別できない、表情が分からない）など、「ひと」が人社会で生きていく根幹に関わる場所に決定的な大変さを抱えています。

ル・リアンでは、その大変さを受け止め理解したうえで、成人期の生活の基本である「働くこと（作業）」を中心とした日中活動を一緒に行っています。

利用者の皆さんは、送迎車の到着する9時頃から夕方3時半までの間、ル・リアンで過ごします。生活介護

事業の作業活動では、布製カレンダーの組付、箱詰作業を行うグループ、廃棄CDやDVDの解体と分別、自主製品として手作り再生和紙がき造りのグループに分かれて日々取り組んでいます。また、主な年間行事として夏には納涼祭、冬にはクリスマス会、新成人を祝う会等、季節を感じながら、人との繋がりを大切にしてきました。

自閉症の人たちは、自分から関わろうとする気持ちがいまいち、言葉があっても意思表示の手段として使えない、伝えられる場面や人が限定されるなど、人を意識して自分の意思を伝えるということ自体に困難さを持っているとも言われています。困っても近くに人に助けを求めたり、もっと欲しいと思っても要求できなかったり、嫌でも拒否できないなど、強いストレスを抱える場合も少なくないでしょう。

人との関係づくりの苦手な自閉症の人たちが、日中活動の営みを通じて、人と一緒にいることに安心感が持てたり、人を頼ることの善さに気づけたり、折り合いをつけることの気安さに気づくことができたなら、どんなに暮らしやすく生きやすくなることかと考えます。日々の生産活動と一緒に関わりながら、確かな信頼関係を構築しつつ、それぞれの自立に向けた営みを応援していきたいと思えます。

### 就労継続支援B型事業

もう一つの事業、就労継続支援B型事業（通所）では現在五名の方が、パン工房内の製パン製菓・販売業務、布製カレンダーの組立業務に携わりながら、就労に必要な知識や能力などの社会生活力を身につけ、自己実現と社会参加・社会貢献の実現を目指し取り組んでいます。

就労継続支援B型事業では、それぞれの障害特性の理解に努め、それに配慮した支援方法により、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供し、生産活動その他の活動を通じて労働の対価を得て、地域の中で社会生活ができていくよう活動を実践しています。生産活動の他には年間の主な行事として、夏には納涼祭で地域の方との交流を深めたり、冬にはクリスマス会や忘年会、新成人を祝う会を通じて、季節を感じて楽しんだり、日頃の活動を皆で労う、仲間のお祝いをする等、社会性に繋がる活動を大切にしています。

カレンダーの組付・箱詰作業では、布製カレンダーにパイプを通す工程、キヤップを取り付ける工程に取り組んでいます。製品であるカレンダーを傷付けないように行わなければなりません。また、パイプ通しからキヤップの取り付けまでは流れ作業ですので、自分だけがペースを落と

すことも出来ません。業者から依頼を受けたように仕上げることを第一に、信頼される作業技術・姿勢を目指し日々取り組んでいます。

パン工房では、午前9時の開店に間に合うように出勤後から作業に取り組みしています。お店には綺麗に仕上がったパンのみ販売されます。これは当たり前のことかもしれませんが、どんなに沢山パンを作っても商品として良い物を出すことができないはお客様に買っていただくことは出来ません。綺麗な商品を作ることがいかに障害を抱えているにないかは関係ありません。現にスタッフよりも綺麗に仕上げるのが出来る方もいます。支援スタッフは支援者ではありませんが、同じ従業員として、仲間として働くという意識も大切にしています。

「自分が作ったものが、誰かの手に渡り、それを手にした人が笑顔になる。」

働いて対価を得るといふことは、簡単な事ではありません。ですが、それを成し得た時、大きな自信になることは間違いありません。そして、働いて対価を得ることはもちろんですが、働くことを通じて、自分の思いと向き合い、人との関係づくりを学び、助けたり、助けられたりしながら支え合って暮らしていくことが出来ればと考えます。共に働くことを通じて、様々な事を経験し、自信

をつけ安心して色々な場所に向かっているように願います。自信をつけた表情はとても生き生きとしています。

障害をかかえた人たちが、人社会で安心して生きていくためには、個々のエンパワーメントを図ること、他、地域社会に広く理解されること、障害をかかえた人たちのよき理解者による生涯にわたっての介在が必要で、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

ル・リアン サービス管理責任者

平下 直樹

施設内でのパンづくり（協働作業です）



織布カレンダーの組付け（これも協働作業です）

## 「ル・リアン相談支援事業部」紹介

相談支援専門員 平下 悦史

社会福祉法人至誠会ル・リアン相談支援事業部は、平成30年7月1日より事業を開始しました。周知されている通り、計画相談支援とは、様々な障害福祉サービスの利用を検討する際に、本人のニーズを確認し、どのサービスをどのように利用するか、その計画を立てる際に相談出来る支援サービスです。本人主体の支援が当たり前と言われる現代で、実際に支援を必要としている方の多くは、自分の意思を表現出来難い方達であり、ご家族が本人の思いを代弁する形でニーズを聞き取らせて頂き、また家族全体を考えた時に必要なサービスを判断し、そのニーズに合ったサービスを紹介していきます。ル・リアン相談支援事業部の計画相談の対象となるのは18歳以上の方達ですが、成人された方達にとって後々には家族の支援が得られなくなる日のことを想定し、本人達が自立に向けて成長していけるようなサービス計画を立てる必要があります。相談支援専門員として、将来を見据え、現場で本人達をじかに見て支援し、ご家族のニーズに少しでも、1つでも応えられるようなサービス計画を一緒に立てていきたいと思っています。

## 後援会員の声

利用者保護者 井後

息子は、特別支援学校高等部を卒業後、ル・リアン開所時から生活介護でお世話になっております。重度の知的障害・強度行動障害があり、また自傷による網膜剥離術後、無水晶体眼（両眼）になり視力が弱い状態での通所スタートでした。最初は、それまでとは生活リズム・環境が大きく異なるので、しばらくは息子の調子が大きく乱れることを覚悟していました。しかし、通所し始めてから大きな乱れもなく、逆に平日の生活リズムが整ってきました。

ル・リアンでは、障害の程度に関係なく、一人ひとりが「働く」ことを通して、人として社会の中で共に生きるということを大切に考えてみます。ですから最重度の息子も毎日頑張って仕事をしています。DVDの解体作業をしていますが、これは自分がやる仕事であり、また支援員さん、利用者の仲間を意識し、ル・リアンは自分の日中の居場所だと認識しているようです。日曜日に「明日からまたル・リアンへお仕事に行くよ」との声かけや、ル・リアンから帰ってきて「今日もお仕事頑張ったね」と言うとき大きく頷きます。もちろん、その日その時によって息子の

の状態は変化します。笑顔で活動できる時が多いですが、硬い表情で低い声を出していたり神経過敏な時もあり、気温・湿度・気圧によっても調子が変わりやすいというのは、息子の特性のひとつです。

日頃の、利用者一人ひとりの特性や体質、状態に合わせた細やかな観察、対応、環境設定等のお陰で、安定した日中活動を過ごすことができ、心より感謝申し上げます。

これから先も息子の居場所は、こしかないと思っています。今後の（社福）至誠会の益々の充実のためにも、保護者としてできることを協力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 後援会会報創刊によせて

理事 福島 久生

平成30年、川部4自治会の代表であった私は、至誠会の事が何も分からないままに監事の大役をお引き受け致しました。

そして、その年の11月に岐阜メディアアコスモスで開催された「事業所設立1周年記念の講演会」の案内を頂き、参加させて頂きました。かつて現役時代に少しかだけ勉強した「発達障害」とか「自閉症」といった言葉が出てきましたが、十分思い出すことができませんでした。しかし、い

ろいろな課題を持つ人も、それらの課題がその人の特色となることも何かのTV番組を見ていて、頭をよぎりました。ただ、会場内を見たとき、保護者らしき方を除いて至誠会関係者の姿が少なかつたことに一抹の寂しさを感じたことも確かでした。

そして、今年役員人事で理事の大役を頂きました。現在、来年度の大きな目標として「グループホーム」の建設を目指して水野理事長さん、平下施設長さんを中心に、保護者会、評議員会、理事会結束して頑張っています。

誰一人としてこの世の中で役目無い人はいません。皆それぞれ活躍する場所はあるはずですが、ただその場所が何処なのかすぐには分からないだけではないのでしょうか。これからは微力ながらル・リアンのお役に立てるよう見守らせて頂きます。



祝 辞

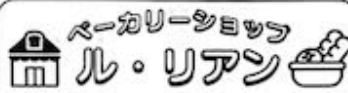
岐阜県議会議員 若井 敦子

この度は、至誠会後援会報第1号のご発刊を、心よりお祝い申し上げます。

日頃より「ル・リアン」の皆様方におかれましては、知的障害を伴う自閉症の方々が、生産活動を通じて自己を実現し、生き生きと社会参加できる環境の実現に、多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

自閉症の方にとって、幼少期から成人・高齢期に至るまで切れ目のない支援が必要とされる中において、「ル・リアン」が担う社会的役割は大きく、生涯を通じた支援を行う「拠点施設」として、また、知的障害を伴った自閉症の方の「専門施設」としての今後益々のご活躍をご期待し、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

現在では障害のある人の社会参加



街の一角にある施設らしくない「ル・リアン」 ※表に見えるはパン屋さん（イートインもできます）



ル・リアン川部店  
TEL058-213-3130



ル・リアン折立販売所  
(十六銀行折立支店前)

が進む中、一方では、今もなお障害を理由とする社会的障壁が存在することも事実であり、岐阜県議会では、障害の有無にかかわらず分け隔てなく共に安心して暮らせる社会の実現を図り、誰もが相互に人格と個性を尊重し合う「共生社会」の実現を図るため、平成28年3月、議員提案条例として全会一致で「岐阜県障害のある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」を可決したところであり、

これからも社会的障壁を取り除き、誰もが同じような権利や生活環境を享受できる社会の実現に向けて一層努めてまいります。

未筆ながら、至誠会の一層のご発展と、関係各位のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

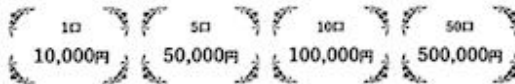


ショートステイ、グループホームを造ります

グループホーム・ショートステイ施設整備のための

寄附金の募集要項

(主に敷地造成・外構工事費、備品整備費に充当します)



できるだけ複数口のご協力をお願いします。

銀行振込で

- ①大垣共立銀行鳥辺支店 普通口座 口座番号 250738  
口座名義 「社会福祉法人 至誠会 グループホーム・ショートステイ」
- ②十六銀行鳥辺支店 普通口座 口座番号 1321331  
口座名義 「社会福祉法人 至誠会」

現金書留または現金で

〒501-1511 岐阜市川部 6-60 社会福祉法人至誠会  
「グループホーム・ショートステイ整備準備室」宛

- 寄付される方の「お名前」とご連絡先(住所・電話番号)を振込者名にご記入ください。
  - 銀行振込・現金書留の手数料はご負担をお願いします。ご了承ください。
  - 現金書留の場合は「氏名」「連絡先」明記の上、郵送をお願いします。
  - 領収証につきましては、寄附申込用紙・振込用紙等控えを代用させていただきますが、後日法人から正式に郵送させていただきます。
- 至誠会グループホーム・ショートステイ整備準備室 事務局長 平下博文  
岐阜市川部6-60 社会福祉法人至誠会(ル・リアン)内 TEL058-201-6330

グループホーム・ショートステイ 整備資金

寄附のお願い

ル・リアン 地域で安心して暮らすための施設整備計画

緊急時に利用できる、将来的地域暮らしの体験利用ができる、ショートステイ棟 建設

2020年4月オープン予定

適切な支援により、安心、安定した地域暮らしができる、グループホーム棟 建設

2021年4月オープン予定



(グループホーム完成予定のイメージ)

建設予定地

グループホーム/岐阜市下西郷5丁目66番  
ショートステイ/岐阜市下西郷5丁目65番1 隣接  
(岐阜特別支援学校東へ1km、日中支援事業所ル・リアンから北へ2km 車で5分以内)

お知らせ

自閉症援助施設 障害福祉サービス事業所

# ル・リアン開設記念 講演会

【とき】 令和元年12月4日(水) 9時00分～12時30分  
 【ところ】 みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

**入場無料**  
 どなたでも  
 参加できます



【施設の場所】



ル・リアンとは、フランス語で、縁、絆、繋がりという意味をもつ言葉です。出会った人との「繋がり」や「縁」、「絆」を大切にしていきたいという願いが込められています。

ル・リアンは障害者総合支援法による多機能型事業所(生活介護・就労支援B)です。関係皆様のご厚情を得て、岐阜市内に開設させていただきました知的障害を伴った自閉症の人の支援拠点としての、障害福祉サービス事業所ル・リアンはこの11月で2年を経ることが出来ました。折りしも、障害者の生涯に亘る地域生活支援が叫ばれているなか、社会での「生きにくさ」を有している人達との共生社会の実現に向けて、私達は身近な地域で、成人期の自閉症の人達が安定・安心できる「場」である施設づくりを始めました。私達は、知的障害を伴っている自閉症の人達が「働く」ことを通じて、自分実現と地域社会で共に生きていく社会の実現を目指しています。

プログラム

- 9時15分～ 開会 挨拶
- 9時30分～ 講演① 「児童期の支援で大切なもの」  
西濃圏域発達支援センター 専門支援員
- 10時45分～ 講演② 「成人期の支援」 ～ル・リアンからの報告～  
NPO法人「ひまわりの花」 理事長 中野たみ子氏
- 10時50分～ 講演③
- 12時10分 終了

【主催】 社会福祉法人 至誠会 岐阜市川部6丁目60番地

社会福祉法人 至誠会 ル・リアン

【お問合せ】 TEL/058-201-6330

FAX/058-201-6331

施設長 平下 博文

ル・リアン今後の行事予定

★ル・リアン「クリスマス&お餅つき」

12月23日(月) 11時00分～

会場：ル・リアン

※皆さんでお出で下さい。

★ル・リアン「新成人を祝う会」

令和2年1月13日(土)

会場：ル・リアン



編集後記

至誠会ル・リアンが開設され2年、後援会が発足し1年を経ました。ようやく会報第1号を発行する運びになりました。小さな「施設」ですが多くの人の想いや願いが詰まっています。願いが同じであれば、また願いが強ければ絆は深まります。そして願いは実現できるはずで、この後援会報名も、やはり「ル・リアン」としました。「みんな違ってみんなおんなじ」、障害のある無しにかかわらず、思いやりの心を持って、共に生きていくことを実感できるそんな社会になると思います。ル・リアンは、現在昼間の支援をしています。夜間や休日の生活支援する、ショートステイ、グループホームの建設整備に取り組んでいます。皆さんのより一層のお力添えを賜りますようお願い致します。

文責 平下 博文